

# 工芸史・工芸技術史研究室 活動報告 4

令和4年度（2022年度）

History of Kogei / History of Kogei Technology Laboratory Activity Report 4

●三宮千佳／富山大学学術研究部芸術文化学系

SANNOMIYA Chika / Faculty of Art and Design, University of Toyama

●Key Words: 工芸作品, 展示 Craft works, Exhibition

本研究室は、平成25年（2013）の開室以来、本学部の収蔵作品の調査研究、保存管理、展示公開等の業務にあたっている。実物作品をとおして研究と教育を推進し、研究成果の企画展等により、地域に貢献することを目標としている。今回は令和4年度（2022年度）の展示活動とその他について以下に報告する。

## 1. 展示活動

学部内で以下の企画展を実施した。

令和4年度企画展「高岡と日本近代の蠟型鑄造展 - 大郷コレクション青銅花器と須賀松園工房の蠟原型 -」

令和3年3～5月に、泉屋博古館（京都）で、本学部との共催により「鑄物・モダン 花を彩る銅のうつわ」展が開催された。本展で得られた知見をもとに、本学部で、大郷コレクション近代青銅花器等約30点と、その主たる制作技法である蠟型鑄造に注目した展示を行った。

特に、本学部に寄贈された須賀松園工房の蠟原型は初めての公開であり、同工房の聞き書きをもとに高岡における蠟型鑄造の特色をパネル等で紹介した。

本展では、コロナ禍を経て学外者の観覧も再開し、多くの来場者があった。失われつつある伝統技法と、近代青銅花器が体現する日本の伝統文化を、学生や市民の皆様と共に楽しむ展覧会とすることを目的とした。

伝統工芸の街・高岡に立地する学部として、工芸の研究・教育のために収集された作品や研究成果を展示公開することで、実物から多様な様式・用途・材料・制作技法の特色を共に学ぶ機会となったと考えている。

なお本展では、博物館学芸員資格関連科目を履修中の学生有志も展示準備全般の補助を行い、学生の日頃の学修成果の発表となった。

会場：富山大学芸術文化学部 TSUMAMA-HALL（エントランスホール）

会期：令和4年12月12日（月）～ 令和5年1月26日（木）

時間：午前8時30分～午後5時30分

※展示期間内の土・日・祝日、また大学の冬季休業期間は閉場

展示作品（一部）

須賀松園（初代） 温公甕割り図脚付薄端、蔦足薄端、須賀松園（二代） 桐葉足薄端

須賀月真 末広花器、唐草透し胴獅子三ツ足薄端

酒井静女 三友文香炉、龍水滴、木の葉茶托（5客）

定塚義正 曲玉耳稜鏡形脚付薄端、鶴首耳薄端、鶴裾文薄端

原田峰雲 青海波千鳥文水盤、独楽形薄端、釉垂れ相華文三ツ足薄端

九嶋金重 気吹親子鼈花器

和銅 気吹親子蝦蟇花器

蠟原型：須賀松園（二代）5点



写真1 展覧会ポスター



写真 2 企画展会場

## 2. 収蔵作品の外部機関への貸出

石川県輪島漆芸美術館が主催した特別展「彫りを彩る一人間国宝 山岸一男の世界」での展示のため、本学部が所蔵する山岸一男の漆作品 1 点を貸し出した。

展覧会名：「彫りを彩る一人間国宝 山岸一男の世界」

平成 30 年に重要無形文化財「沈金」保持者に認定された山岸一男氏の特別展。公募展への出品作品を中心に、沈黒や沈金象嵌など、山岸氏の幅広い沈金技法と作品の魅力が紹介された。

会場：石川県輪島漆芸美術館（石川県輪島市水守町四十苅 11）

会期：令和 4 年 9 月 17 日（土）～ 11 月 6 日（日）  
午前 9 時～午後 5 時

貸出作品：山岸一男「沈金象嵌山帰来平棗」



写真 3 山岸一男「沈金象嵌山帰来平棗」

## 3. 地域プロジェクトでの収蔵作品展示

高岡市金屋町、高岡市、本学部が連携して毎年実施している地域プロジェクト「ミラレ金屋町」に対し、収蔵作品を貸し出した。「街並みと暮らしのギャラリー」では、金屋町の伝統的なさまのこ（千本格子）

の町家に工芸作品を展示し、金工の町の歴史や雰囲気味わいながら鑑賞することができる。

今年度は特に、金森藤平家、般若家において、華道の嵯峨御流富山司所の皆様に、大郷コレクション青銅花器にいけばな 7 作品を制作していただいた。

例年と同じく、学生有志がこの展示活動に参加した。市役所や町の人々とも交流しながら学ぶ良い機会となっている。

会場：高岡市金屋町 金森藤平家、般若家

会期：令和 4 年 9 月 23 日（金）、24 日（土）

嵯峨御流富山司所：篠原節甫、田中悦甫、谷道美智甫、藤牧恵泉、上野奈津甫、森田良甫、牧野栄甫、笹島 恵甫



写真 4 ミラレ金屋町 金森藤平家 嵯峨御流富山司所生花作品



写真 5 ミラレ金屋町 般若家 嵯峨御流富山司所生花作品

## 4. 授業での収蔵作品の活用

「工芸技法・材料」、「工芸基礎演習（漆工）」において、3 件（全 19 点）の貸し出しがあった。主に実習において収蔵作品を活用し、学生が実物作品に触れながら学ぶ、実践的な授業を展開している。

### 令和 4 年度 室員

室長 三宮千佳（美術史、博物館学）

室員 今淵純子（金属工芸）石川将士（金属工芸）